

2019 年 3 月 7 日

報道関係者各位

テクマトリックス株式会社
(東証一部 / 証券コード : 3762)

C#／VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 10.4.1」の 販売を開始

静的解析にセキュリティ関連ルールを追加、Visual Studio との統合を強化

テクマトリックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：由利孝、以下「テクマトリックス」）は、米国 Parasoft Corporation（本社：米国カリフォルニア州、最高経営責任者：Elizabeth Kolawa、以下「Parasoft 社」）が開発した C#／VB.NET 対応静的解析・動的解析ツール「dotTEST 10.4.1」の販売を 2019 年 3 月 7 日より開始します。

dotTEST は、高品質な .NET アプリケーションの開発とテスト工数の大幅削減を強力にサポートする C#／VB.NET 対応静的解析・動的解析自動化ツールです。860 個以上のコーディングルールをもとにソースコードを静的に解析し、プログラムの問題点やファイルを横断した処理フローに潜む検出困難なエラーを検出します。また、.NET アプリケーションの実行中のカバレッジ情報も収集します。開発工程に dotTEST による静的解析やカバレッジ情報収集を組み込むことにより、テストの効率化とソースコードの品質向上が期待できます。

dotTEST では、以前より、さまざまなセキュリティコンプライアンスに対応したルールが搭載されていますが、このたびリリースされた dotTEST 10.4.1 にて、ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類（脆弱性タイプ）の一覧共通基準である CWE（Common Weakness Enumeration）の ver.3.1 と米国に輸出する製品およびシステムにとって重要となるサイバーセキュリティ基準の UL2900 に対応したルールが追加されました。静的解析によるセキュリティ標準のチェックが強化され、C#や VB.NET での開発におけるセキュアコーディングの推進を強力にサポートします。

また、.NET Core プロジェクトの解析や Visual Studio のコード分析、VSTest によるテスト実行がサポートされ、Visual Studio との親和性がさらに向上しました。Visual Studio の作業環境で dotTEST を利用した静的解析やカバレッジ収集の設定、実行、結果参照を違和感なく行えるようになりました。

dotTEST 10.4.1 では、同時にリリースされる Parasoft DTP 5.4.1 と併せて利用可能なセキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」が追加され、セキュリティ関連ルールを用いた静的解析機能と解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守／逸脱レポートをリアルタイムで参照できるようになりました。

テクマトリックスは、Parasoft 社製品の国内総販売代理店として、ソフトウェア開発に携わるすべてのお客様の課題を解決する最適なツールとして、dotTEST の販売、マーケティング、ユーザーサポートなどの活動を強化してまいります。

Press Release

【dotTEST 10.4.1 の新機能・改善点】

- ・ **CWE 3.1** や **UL 2900** といったセキュリティコンプライアンスのルールを追加し、静的機能を強化
セキュリティ関連を中心に静的解析のルールが追加されました。追加されたルールには、ソフトウェアの脆弱性を識別するための脆弱性の種類（脆弱性タイプ）の一覧共通基準である **CWE**（Common Weakness Enumeration）の ver.3.1 と米国に輸出する製品およびシステムにとって重要となるサイバーセキュリティ基準の **UL2900** に対応したルールが含まれています。dotTEST では、以前より、さまざまなセキュリティ標準やプラクティスに対応したルールが搭載されており、dotTEST 10.4.1 で追加された **CWE 3.1** と **UL 2900** を加えて、8 種類のセキュリティコンプライアンスに対応しました。

【dotTEST のセキュリティコンプライアンスルール】

- ・ CWE 3.1
- ・ CWE SANS Top 25 2011
- ・ Microsoft Secure Coding Guidelines
- ・ OWASP Top 10 2017
- ・ PCI Data Security Standard
- ・ PCI v3.1 Data Security Standard (Server Configuration)
- ・ Security Assessment
- ・ UL 2900

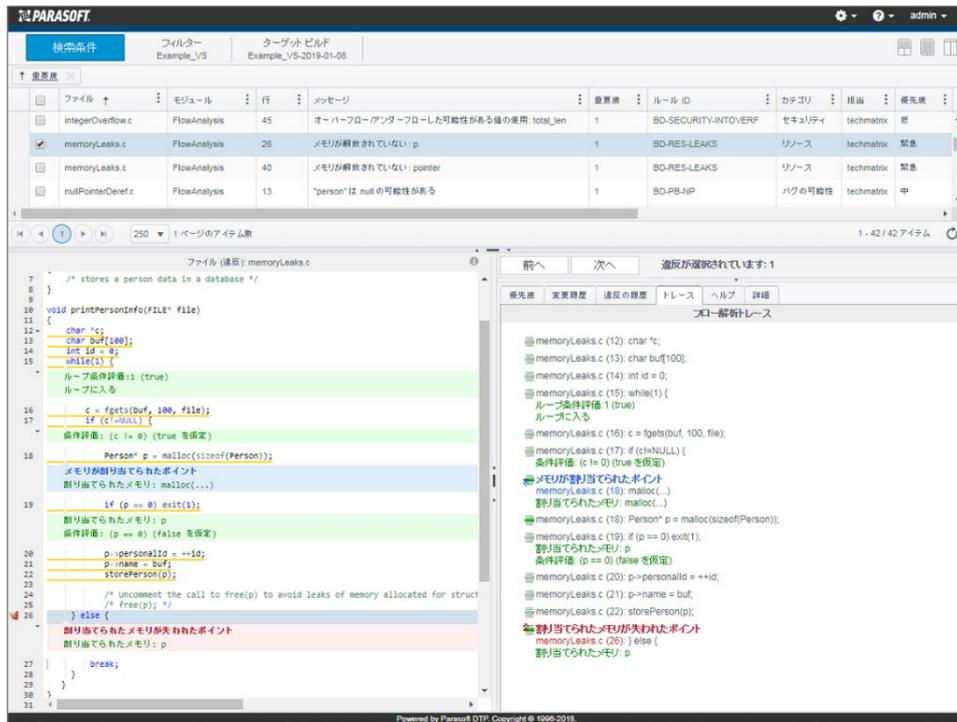
新たに投入された、セキュリティコンプライアンスの遵守を促進する「セキュリティコンプライアンスパック」の静的解析ルールを用いてプログラムを解析しルール違反を検出することにより、C#やVB.NETでの開発におけるセキュアコーディングの推進を強力にサポートします。また、解析結果から生成されるコンプライアンスの遵守/逸脱レポートをリアルタイムで参照できるようになりました。
※セキュリティコンプライアンスルールによる静的解析および遵守/逸脱レポートの参照には「セキュリティコンプライアンスパック」のライセンス（有償）が必要です。

- ・ **.NET Core プロジェクトの解析をサポート**
.NET のクロスプラットフォーム環境である.NET Core の解析がサポートされました。バグを検出するためのフロー解析や、コーディング規約チェックといった静的解析から、アプリケーション実行時のカバレッジ収集も可能となり、.NET Core 開発での品質確保に役立ちます。
- ・ **Visual Studio のコード分析をサポート**
Visual Studio の機能である、コード分析がサポートされました。dotTEST の解析と同時にコード分析を実行でき、解析結果も dotTEST の GUI や、ParasoftDTP から確認できます。また、解析ルールも dotTEST 上で設定可能です。すでに Visual Studio のコード分析を利用している場合でも、スムーズに dotTEST と併用することができます。
- ・ **VSTest との統合**
Visual Studio のテスト実行エンジンである VSTest によるテスト実行がサポートされました。これによって、MSTest と NUnit、xUnit.net など異なるテストフレームワークを使ったテストを 1 度に実行でき、テスト結果や、カバレッジを dotTEST または Parasoft DTP から確認できます。

【Parasoft DTP 5.4.1 の新機能・改善点】

- ・ フロー解析トレースの強化

フロー解析により見つかった違反は、dotTEST が論理的にプログラムを実行した結果であり、致命的な欠陥を見つけることができる非常に強力なメカニズムです。このたびのバージョンアップでは、フロー解析におけるデータフローのシミュレート結果がより詳しく表示されるようになりました。「なぜ条件演算子で true と判断されたのか」・「なぜ違反が発生しているか」の理解や、「違反の重要性」の判断が容易になりました。



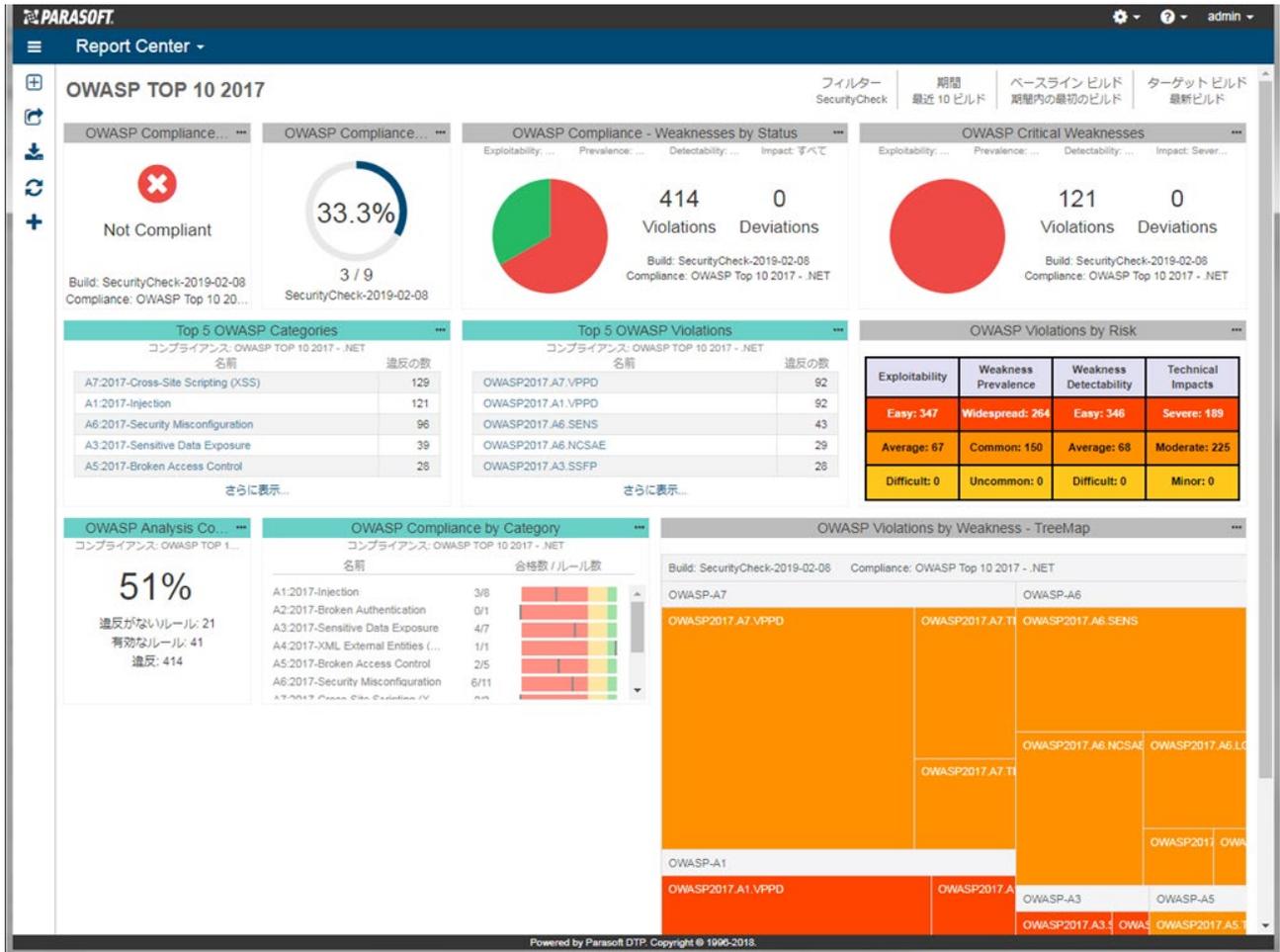
- ・ 違反エクスプローラ上での抑制に対応

Parasoft DTP に登録された違反において、修正不要と判断された違反を違反エクスプローラ上から抑制できるようになりました。これにより次回以降の静的解析から違反として検出されなくなります。抑制は Parasoft DTP 内部で保持されるため、ソースコードに抑制のための修正を入力する必要ありません。また、プロジェクト共通の設定となるため、各開発者のローカルでのテストでも抑制が反映されます。

- ・ コンプライアンスの遵守を促進するパッケージの追加

コンプライアンスパッケージを導入することにより、dotTEST による静的解析の結果から OWASP Top 10 2017 や CWE 3.1、CWE SANS Top 25 2011 に則った遵守サマリーレポートや逸脱のレポートをいつでも確認できるようになります。ガイドラインの遵守状況の説明責任を果たすことが容易になるだけでなく、未遵守箇所を早期に特定し必要な措置を講ずることにより、欠陥のあるソフトウェアに関連するビジネスリスクを排除することが可能になります。

※セキュリティコンプライアンス関連機能の使用には専用のライセンス（有償）が必要です。



OWASP Top 10 2017 用ダッシュボード

製品の詳細につきましては web ページをご確認ください。

dotTEST の URL : www.techmatrix.co.jp/product/dottest/

- ・ 販売開始日
2019年3月7日
- ・ 出荷開始予定日
2019年3月7日

2019年3月7日において、保守サービスをご契約いただいている dotTEST ユーザー様には、「dotTEST 10.4.1」バージョンアップ製品を、無償でご提供します。

■Parasoft Corporation について

Parasoft 社は、25年以上にわたり、ソフトウェアのバグがアプリケーションに混入する原因と仕組みを研究し、数々のソリューションを提供してきました。Parasoft 社のソリューションは、ソフトウェア開発ライフサイクルにおける継続可能なプロセスとして、品質改善活動を支援し、頑強なソースコードの実装、無駄がなく

機能性の高いシステムの構築、安定したビジネスプロセスの実現を可能とします。数々の賞を受賞した Parasoft 社製品は、長年の研究成果と経験から得られたノウハウを自動化し、エンタープライズシステムから組み込みソフトウェアまで、どのようなタイプのソフトウェア開発においても、生産性向上と品質改善を実現します。Parasoft 社のコンサルティングサービスは、ツールでは解決できない問題の解決や開発プロセスの改善など、Parasoft 社の 25 年以上の経験を直接お客様に提供し、お客様の改善活動を支援します。

詳細は Web サイト：www.parasoft.com/ をご参照ください。

■テクマトリックス株式会社について

テクマトリックス（東証一部：3762）は、クラウドコンピューティング時代に技術革新をもたらす情報基盤技術のインテグレーションを提供する「情報基盤事業」と、ソフトウェア開発のベストプラクティスを駆使してアプリケーション開発を行なう「アプリケーション・サービス事業」を展開しております。ソフトウェアエンジニアリング分野では、20 年にわたり、ソフトウェア品質向上をサポートする製品を海外より輸入し、日本国内に提供するためのローカライゼーション、コンサルティング、技術サポート、教育などさまざまな付加価値を付けてご提供しています。

詳細は Web サイト：www.techmatrix.co.jp/ をご参照ください。

<本件に関するお問い合わせ先>

テクマトリックス株式会社

ソフトウェアエンジニアリング営業部 dotTEST 担当

E-mail：parasoft-info@techmatrix.co.jp

TEL：03-4405-7853

*本原稿に記載されている社名及び製品名等は、各社の商標または登録商標です。